

# 漁海況月報

No. 12

平成21年12月1日

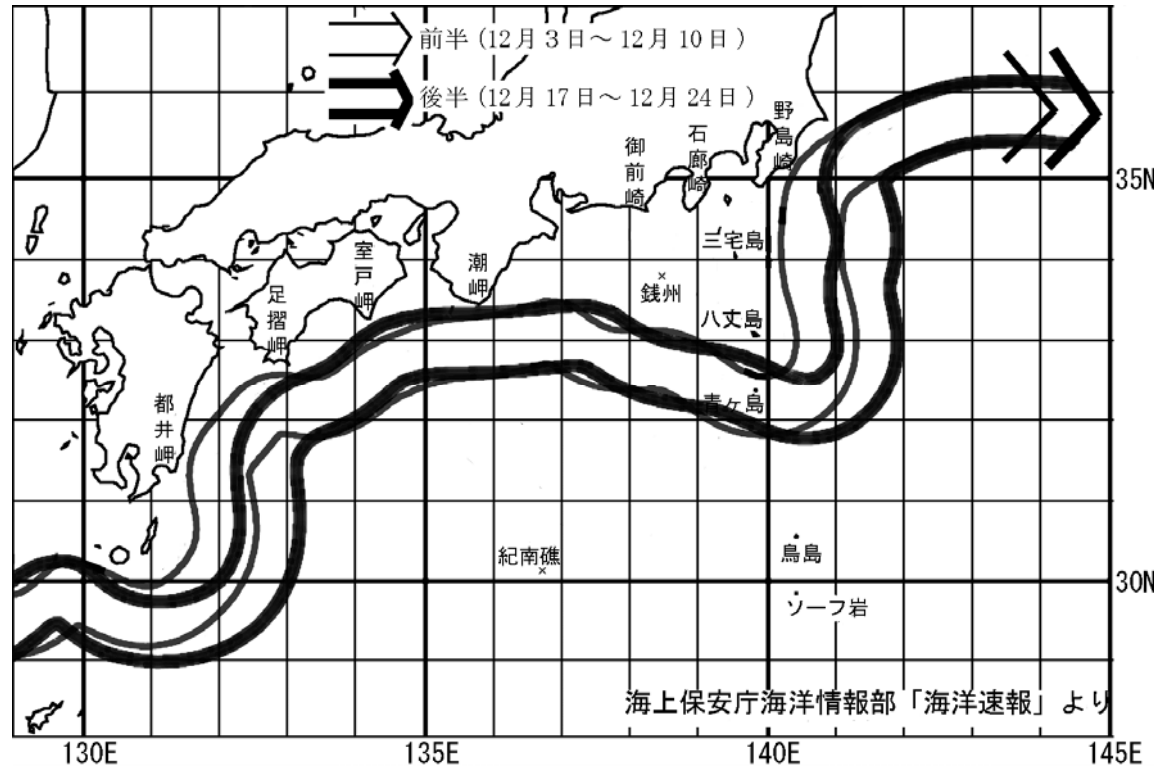
～12月31日

静岡県水産技術研究所

(電話 054-627-1815)

静岡県水産術研究所 伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



## 【黒潮流路】

前半の黒潮は、九州の都井岬沖から四国の足摺岬沖では接岸傾向、四国の土佐湾沖から潮岬沖ではやや離岸傾向で流れた。その後、遠州灘沖から南東に向かい八丈島の南を通り、140.5° E付近を北上し、房総半島にかなり接近して北東方向へ流れた。

後半には、都井岬沖では前半に比べ約40マイル離岸し土佐湾沖にかけて離岸傾向で流れた。潮岬沖を接岸傾向で流れた後、遠州灘沖から南東に向かい伊豆諸島海域を迂回し、141.5° E付近を北上した。黒潮の蛇行北上流路が東偏し、房総半島の野島崎沖では前半に比べ約30マイル離岸した。

## 【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では15～21℃台、駿河湾の東部では14～20℃台、西部では12～19℃台で経過した。中旬までは伊豆諸島北部からの暖水が、下旬には遠州灘沖からの暖水がそれぞれ波及し、相模湾側、駿河湾側ともに平年よりも高く、特に相模湾側の稲取、下田では上・中旬に、駿河湾側の焼津では上・中・下旬ともに、平年差2℃以上となった。

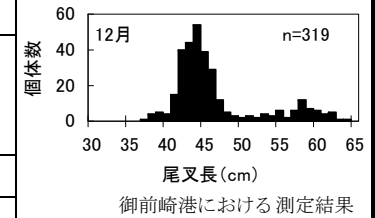
## 【竿釣近海カツオ】

12月の県内主要5港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオの水揚量は7ト、魚価は751円/kgであり、3年ぶりに12月に水揚げがあった。

静岡県近海では34° 20' ～34° 50' N、138° ～138° 50' Eの駿河湾内から金洲にかけて、小・極小（尾叉長44cmモード）、中・大（尾叉長58cmモード）カツオを漁獲した。

竿釣（近海船+沿岸船）カツオ水揚量（県内主要5港）

| 期間       | 水揚量 (ト) | 水揚 隻数 | 水揚/隻 (ト) | 平均単価 (円/kg) |
|----------|---------|-------|----------|-------------|
| 21年12月上旬 | 4       | 7     | 0.6      | 755         |
| 中旬       | 3       | 3     | 1.0      | 752         |
| 下旬       | 0       | 0     | —        | —           |
| 21年12月計  | 7       | 10    | 0.7      | 751         |
| 20年12月計  | 0       | 0     | —        | —           |
| 19年12月計  | 0       | 0     | —        | —           |



(平成21年から沿岸と近海竿釣り船を合計した値を載せます。)

## 【定置網】

平成21年12月、伊豆半島東岸大型定置網8か統（伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）の水揚量は593トで、操業がなかった赤石を除く1漁場当たり水揚量84.7トンは多かった前年90.3ト（6漁場）の94%、平年値（昭和57～平成20年）34.5トンの246%であった。

魚種別水揚量は、①サバ類332ト（A：前年同月比100%、B：平年同月比706%）②カタクチイワシ105.3ト（A：114%、B：513%）③サンマ78.2ト（A：1,440%、B：165%）④サバッコ31.9ト（A：1,036%、B：12,967%）⑤スルメイカ17.2ト（A：128%、B：77%）の順であった。

サバ類は古網、川奈、北川を中心にゴマサバ主体で入網し、昭和57年以降で前年に続いて2番目に多く漁獲され、尾叉長のモードは33cmにみられた。サバッコは川奈、富戸中心にゴマサバ主体で入網し、昭和57年以降で最も多かった前年の10倍以上漁獲され、尾叉長のモードは22cmにみられた。カタクチイワシは古網、北川、富戸中心に入網し、昭和57年以降で2番目に多く漁獲され、被鱗体長のモードは12cmであった。サンマは川奈、北川、谷津、富戸中心に入網し、肉体長のモードは28cmにみられた。スルメイカは富戸、北川中心に入網し、外套背長のモードは25～26cmであった。ブリ2009

## 定地水温の旬平均値（℃）（下段は偏差）

| 期間 | 伊東   | 稲取   | 下田   | 雲見   | 沼津   | 焼津   | 地頭方  |
|----|------|------|------|------|------|------|------|
| 上旬 | 17.9 | 20.6 | 20.0 | 17.6 | 19.6 | 18.9 | 15.3 |
|    | 0.5  | 2.7  | 2.6  | -0.4 | 2.0  | 2.1  | -0.4 |
| 中旬 | 18.1 | 19.5 | 19.2 | 18.8 | 18.3 | 18.8 | 14.1 |
|    | 1.5  | 2.3  | 2.8  | 1.9  | 1.7  | 2.7  | -0.5 |
| 下旬 | 16.3 | 17.0 | 16.7 | 16.3 | 17.1 | 17.1 | 13.6 |
|    | 0.6  | 0.6  | 1.0  | 0.3  | 1.4  | 2.2  | -0.2 |
| 月  | 17.4 | 19.2 | 18.9 | 17.5 | 18.2 | 18.2 | 14.3 |
|    | 0.9  | 2.1  | 2.4  | 0.6  | 1.6  | 2.4  | -0.3 |

年級群であるワカシ銘柄は2.6トンと伊豆山中心に昭和57年以降で最も多く漁獲され、尾叉長のモードは38cmにみられた。主力のマアジは5.9トンと少なく、平年の1/3程度にとどまり、尾叉長のモードは20cmにみられた。

漁場別水揚量は、古網141トン（サバ類、カタクチイワシ中心）、川奈140トン（サバ類、サンマ、サバッコ中心）、北川135トン（サバ類、カタクチイワシ、サンマ中心）の順であった。

#### 【サバたもすくい・棒受網】

本年は12月26日の水揚げを以て終漁となった。小川港には、棒受網・たもすくいによってゴマサバ284トン（前年同月比62%）が水揚げされた。ゴマサバの1隻あたり水揚量は28.4トン/隻（前年同月比75%）、平均単価は37円/kgで前年同月（58円）を下回り、前月（36円）並みであった。

棒受網の漁場は三本に形成され、尾叉長22～26cmモードのゴマサバ0歳魚（2009年級群）主体に30～32cmモードの同2歳魚（2007年級群）、1歳魚（2008年級群）も漁獲された。また、26～27cmモードのオアカムロが混獲された。たもすくいも、三本等で棒受網とほぼ同じ魚体を対象に操業した模様。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

| 期 間      | 水揚量(トン) |      | 水揚日数 | 水揚隻数 | 水揚/隻(トン) |      | 単価(円/kg) |      | 漁 場 |
|----------|---------|------|------|------|----------|------|----------|------|-----|
|          | サバ      | ゴマサバ |      |      | サバ       | ゴマサバ | サバ       | ゴマサバ |     |
| 21年12月上旬 | 0       | 192  | 3    | 6    | 0.0      | 32.1 | —        | 36   | 三本  |
| 中旬       | 0       | 0    | 0    | 0    | 0.0      | 0.0  | —        | —    | —   |
| 下旬       | 0       | 92   | 2    | 4    | 0.0      | 22.9 | —        | 39   | 三本  |
| 21年12月計  | 0       | 284  | 5    | 10   | 0.0      | 28.4 | —        | 37   | —   |
| 20年12月   | 0       | 455  | 6    | 12   | 0.0      | 37.9 | —        | 58   | 三本  |
| 19年12月   | 0       | 250  | 4    | 8    | 0.0      | 31.3 | —        | 95   | 三宅  |

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

#### 【サクラエビ船曳網】

12月の出漁日数は3日で、漁獲量は123トン、漁場は主に焼津～相良沖に形成された。漁獲されたサクラエビは、体長33mmにモードを持つ当歳エビと40mmにモードを持つ1歳エビで構成された。

平成21年秋漁は12月24日が最終出漁日となり、出漁日数は11日（前年秋漁は11日）、漁獲量は446トン（同542トン）であった。

サクラエビ水揚量

| 期 間        | 水揚量(トン) | 日数 | 1日1か統当り平均(kg) | 漁 場     |
|------------|---------|----|---------------|---------|
| 平成21年12月上旬 | 85      | 2  | 平均 705        | 大井川～相良沖 |
| 中旬         | —       | —  | —             | —       |
| 下旬         | 38      | 1  | 平均 618        | 用宗～相良沖  |
| 平成21年12月計  | 123     | 3  | 平均 677        | 焼津～相良沖  |
| 平成20年12月計  | 322     | 6  | 平均 893        | 大井川～相良沖 |
| 平成19年12月計  | 287     | 5  | 平均 955        | 焼津～大井川沖 |

#### 【シラス船曳網】

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が64kg、遠州灘が195kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は129kgと前年同期(93kg)の139%、平年同期(過去5か年平均:78kg)の165%と前年、平年を上回った。また、総水揚量は104.9トンで前年同期(67.2トン)の156%、平年同期(57.8トン)

の181%と前年、平年を上回った。平均単価は882円/kgで、平年同期(1,251円/kg)を下回った。

シラス水揚量（主要6港）

| 漁 港       | 水揚量(トン) | 延日数 | 延統数 | 平均漁獲量(kg/統) | 平均単価(円/kg) |
|-----------|---------|-----|-----|-------------|------------|
| 新 居       | 7.4     | 8   | 46  | 162         | 793        |
| 舞 阪       | 23.5    | 7   | 104 | 226         | 736        |
| 福 田       | 33.1    | 7   | 162 | 204         | 730        |
| 御前崎       | 14.2    | 8   | 89  | 159         | 774        |
| 吉 田       | 15.4    | 10  | 233 | 66          | 965        |
| 静 岡       | 11.2    | 9   | 180 | 62          | 1,725      |
| 平成21年12月計 | 104.9   |     | 814 | 129         | 882        |
| 平成20年12月計 | 67.2    |     | 723 | 93          | 1,116      |
| 平成19年12月計 | 25.2    |     | 355 | 71          | 1,125      |

#### 【まき網】

小川港ではマイワシが9.9トンの水揚げで平年同期(11.1トン)の89%であった。沼津港では、マイワシが14.3トンの水揚げで平年同期(23.9トン)の60%であった。カタクチイワシの水揚げはなかった(平年同期は0.1トン)。静浦港では、マイワシの水揚げはなかった(平年同期は0.1トン)。カタクチイワシの水揚げもなかった(平年同期は水揚なし)。伊東港ではマイワシが350.8トンの水揚げで平年同期(0.02トン)の1万8千倍であった。

注) 平年同期: 過去5か年(2004～2008年)平均

#### 【調査船の動向】

富 士 丸

12月 1日 ～ 12月 14日 第5次中南方海域調査 (14日間)

駿 河 丸

12月 7日 ～ 12月 9日 地先定線観測調査 (3日間)

12月 10日 ～ 12月 11日 サクラエビ IKMT・産卵調査 (2日間)

12月 14日 ～ 12月 15日 短期海況・タチウオ・サクラエビ産卵調査 (2日間)

12月 16日 公共水域水質調査 (1日間)

12月 21日 ～ 12月 22日 サバ魚探調査 (2日間)

#### 静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

